

キセノンウェザーメーター

仕様書

平成30年11月

地方独立行政法人大阪産業技術研究所
森之宮センター

1. 調達背景および目的

キセノンウェザーメーターは、試料へ太陽光の代わりにキセノンアーク光を照射し、雨の代わりに水を噴射することで、屋外で使用する製品に生じる劣化を再現および促進させるための装置であり、屋外で使用する製品の耐久性、すなわち耐候性を評価することを目的としている。キセノンウェザーメーターとその試験方法は、国際標準化機構(ISO)や日本工業規格(JIS)をはじめとした規格に規定されており、製品開発や品質管理に役立てられている。

2. 調達物品の名称、数量および構成内訳

名称：キセノンウェザーメーター

数量：一式

内訳：本体 一台

自動純水装置 一台

3. 機器の性能、機能、規格等

3-1 本体

3-1-1 装置の構造は、JIS B 7754「キセノンアークランプ式耐光性及び耐候性試験機」に従うこと。

3-1-2 JIS K 7350-2 の規定に従って、波長域 300～400 nm における試験片面の放射照度を 60 W/m² にできること

3-1-3 JIS K 2396 の規定に従って、波長域 300～700 nm における試験片面の放射照度を 390 W/m² にできること

3-1-4 キセノンアークランプの相対分光放射照度が JIS K 7350-2 の表 1 および表 2 に従うこと

3-1-5 試料枠の直径が 960±6 mm であること

3-1-6 温度制御のためにはブラックパネル温度計を有すること

3-1-7 ブラックパネル温度計の温度制御が 63±3 °C であること

3-1-8 ランプ点灯時の相対湿度の制御が 50±10 % であること

3-1-9 水の噴射時間は 60 分照射中 12 分あるいは 120 分照射中 18 分であること

3-2 自動純水装置

3-2-1 噴射する水の水質として電導度が 5 μS/cm 未満であること

3-3 その他

3-3-1 放射照度計について ISO/IEC 17025 適合の校正証明書を添付すること

4. 設置場所

大阪府大阪市城東区森之宮 1 丁目 6 番 50 号

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 別棟 X11 号室(環境試験室)

5. 納入期限

平成 31 年 3 月 29 日 (金)

6. 検査

検査項目は以下の通りとする。

- ・ 員数検査
- ・ 外観検査
- ・ 性能検査

なお、検査用の試料および消耗品は受注者が用意すること。

7. 職員研修

本システムについて、取り扱い方法などに関する研修を当研究所職員に対して行うこと。なお、研修用の資料、必要な試料および消耗品等は、受注者が用意すること。

8. その他

- 8-1 装置の搬入、設置または据え付け、調整、研修および検収に要する諸費用は受注者の負担とし、受注者が所定の納入期限までに速やかに行うこと。
- 8-2 装置の搬入、設置または据え付け、付帯工事、接続作業および調整等を行うにあたっては、事前に担当者とは十分協議すること。また、これらの実施にあたっては、当研究所の業務に支障をきたさないよう十分に配慮すると共に、万一、業務や建物設備等に損害が生じた場合は、受注者の責任において、これを補償すること。
- 8-3 装置の操作方法に対して疑義が生じた場合には、大阪府内あるいは近接府県にサービス拠点を有し、技術員による派遣指導、教育、技術的相談またはその他の適切な方法によって速やかに応じられる体制が整えられていること。
- 8-4 装置納入後 1 年を装置の保証期間とし、正常な使用状況において発生した故障については、速やかに無償にて修理または交換すること。
- 8-5 装置納入後 1 年経過後の有償期間においても、故障が発生した場合は、速やかに故障部品の納入や補修を行うなどの措置を講じ、当研究所の業務に支障をきたさないようにすること。
- 8-6 当該装置が製造中止になったとしても、製造中止後 7 年間は装置の性能維持に必要な部品の供給を確保すること。
- 8-7 装置の性能維持に必要な部品を供給することができる工場を日本国内に有し、速やかな部品供給を行うことができる体制であること。
- 8-8 装置の説明、使用方法、点検方法、トラブル時の対処方法などを記した日本語のマニュアルを 1 部提出すること。

8-9 機械に関する危険性等の通知について規定している改正労働安全衛生規則第 24 条の 13 に基づき「残留リスク一覧」を提出すること。

8-10 本仕様書に定める以外の項目で疑義が生じた場合は、双方協議のうえに対応すること。

以上